



取扱説明書

スチームバルブ
機種名称

VNDシリーズ
型式 / シリーズ

SMC株式会社

目次

安全上のご注意	2, 3
設計上のご注意	4
選定	4
取付け	4
配管	5
使用環境	5
保守点検	5
使用時のご注意	5
製品個別注意事項	6
故障と対処方法	7



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格 (ISO / IEC)、日本産業規格 (JIS)*1) およびその他の安全法規*2)に加えて、必ず守ってください。

- *1) ISO 4414: Pneumatic fluid power – General rules and safety requirements for systems and their components
ISO 4413: Hydraulic fluid power – General rules and safety requirements for systems and their components
IEC 60204-1: Safety of machinery – Electrical equipment of machines – Part 1: General requirements
ISO 10218-1: Robots and robotic devices – Safety requirements for industrial robots – Part 1: Robots
JIS B 8370: 空気圧—システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項
JIS B 8361: 油圧—システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項
JIS B 9960-1: 機械類の安全性—機械の電気装置—第1部：一般要求事項
JIS B 8433-1: ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットのための安全要求事項—第1部：ロボット

*2) 労働安全衛生法 など



危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。



注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定されるもの。

警告

- ① **当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。**
ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。
このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。
常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況を考慮してシステムを構成してください。
- ② **当社製品は、十分な知識と経験を持った人が取扱ってください。**
ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。
機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは十分な知識と経験を持った人が行ってください。
- ③ **安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。**
 1. 機械・装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認してから行ってください。
 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解してから行ってください。
 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④ **当社製品は、製品固有の仕様外での使用はできません。次に示すような条件や環境で使用するには開発・設計・製造されておりませんので、適用外とさせていただきます。**
 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、野外や直射日光が当たる場所での使用。
 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、生命および人体や財産に影響を及ぼす機器、燃料装置、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログ、取扱説明書などの標準仕様に合わない用途の使用。
 3. インターロック回路に使用する場合。ただし、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの2重インターロック方式による使用を除く。
また定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



安全上のご注意

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。

製造業以外でのご使用については、適用外となります。

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。

新計量法により、日本国内で SI 単位以外を使用することはできません。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。^{*3)}
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。

②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換品の提供を行わせていただきます。
なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。

③その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

*3) 真空パッドは、使用開始から1年以内の保証期間を適用できません。

真空パッドは消耗部品であり、製品保証期間は納入後1年です。

ただし、保証期間内であっても、真空パッドを使用したことによる磨耗、またはゴム材質の劣化が原因の場合には、製品保証の適用範囲外となります。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。



VNDシリーズ 流体制御用電磁弁/共通注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

設計上のご注意

⚠ 警告

①緊急遮断弁などには使用できません。

本シリーズのバルブは、緊急遮断弁などの安全確保用のバルブとして設計されていません。そのようなシステムの場合は、別の確実に安全確保できる手段を講じた上でご使用ください。

②メンテナンススペースの確保

保守点検に必要なスペースを確保してください。

③液封について

液体を流す場合、システム上に逃し弁を設け、液封の回路にならないようにしてください。

④アクチュエータ駆動について

バルブでシリンダなどのアクチュエータを駆動する場合は、予めアクチュエータの作動による危険が発生しないように対策してください。

⑤圧力(真空含む)保持

バルブは漏れを許容していますので、圧力容器内の圧力(真空含む)保持などの用途には使用できません。

⑥ウォーターハンマー等、急激な圧力変動による衝撃が加わるとバルブが破損する場合がありますので、注意願います。

選定

⚠ 警告

①仕様をご確認ください。

用途・流体・環境その他の使用条件を十分考慮し、カタログに記載の仕様範囲内でご使用ください。

②使用流体について

1)使用流体の種類について

使用可能な流体かどうかについては各種類の材質および耐薬品性適応流体を確認してからご使用ください。

なお、不明な点は、当社にご確認ください。

2)腐食性ガスの場合

応力腐食割れその他事故の原因となりますので、使用できません。

3)青銅ボディは水質によっては腐食が発生し内部漏れとなる場合があります。異常が生じた場合はステンレスボディ製品へ切替えてください。

③使用流体の質について

異物の混入している流体を使用しますと弁座の摩耗促進、弁体の変形等により、作動不良、シール不良などのトラブルを生じる事がありますので、弁直前に適切なフィルタ(ストレーナ)を設置してください。一般に80~100メッシュ程度を目安としてください。

ボイラへの給水に使用する場合、カルシウム、マグネシウムなど硬質のスケール、スラッジはバルブの作動不良の原因となるので、それらの物質を除去する硬水軟化装置の設置とバルブ直前にフィルタ(ストレーナ)を設置してください。

④使用空気の質について

1)清浄な空気をご使用ください。

圧縮空気が化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、塩分、腐食性ガス等を含む時は破壊や作動不良の原因となりますので使用しないでください。

2)エアフィルタを取付けてください。

バルブ近くの上流側に、エアフィルタを取付けてください。ろ過度は5μm以下を選定してください。

3)アフタクーラやエアドライヤなどを設置し、対策を施してください。

ドレンを多量に含んだ圧縮空気はバルブや他の空気圧機器の作動不良の原因となります。アフタクーラやエアドライヤなどを設置し、対策を施してください。

4)カーボン粉の発生が多い場合、ミストセパレータをバルブの上流側に設置して除去してください。

コンプレッサから発生するカーボン粉が多いとバルブ内部に付着し、作動不良の原因となります。

以上の圧縮空気の質についての詳細は当社の「圧縮空気清浄化システム」をご参照ください。

⑤周囲環境について

使用周囲温度範囲内でご使用ください。製品構成材料と周囲雰囲気との適合性をご確認の上、製品外表面に流体が付着しないようにご使用ください。

⑥低温下での使用

1)各バルブの仕様で周囲温度-5℃まで使用できますが、ドレン、水分などの固化または凍結がないように対策を施してください。

2)寒冷地で使用する場合には、管路内の排水を行うなどの凍結防止策を講じてください。露点温度が高く、周囲温度が低い場合や、大流量を流す等の場合も、凍結の原因となります。エアドライヤの設置、ボディの保温等の防止策を施してください。

⑦分解・改造の禁止

本体を分解・改造(追加加工含む)しないでください。けがや事故の恐れがあります。

取付け

⚠ 警告

①漏れ量が増大したり、機器が適正に作動しない場合は使用しないでください。

取付け後適正な機能検査を行って正しい取付けがされているか確認してください。

②鋼管、銅管継手の場合以外は、ブラケットで固定してください。

③振動源がある場合は避けるか、本体からのアームを最短にし、共振を起こさぬようにしてください。

④塗装する場合

製品に印刷または、貼付けてある警告表示や仕様は、消したり、はがしたり、文字を塗りつぶすなどしないでください。



VNDシリーズ 流体制御用電磁弁/共通注意事項②

ご使用前に必ずお読みください。

配管

⚠ 注意

①配管前の処置

配管前にエアブロー(フラッシング)または洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、ゴミ等を除去してください。

配管による引張・圧縮・曲げなどの力がバルブボディに加わらないよう配管してください。

②シールテープの巻き方

配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材がバルブ内部へ入り込まないようにしてください。

なおシールテープを使用される時は、ねじ部を 1.5~2 山残して巻いてください。



③配管にアースを接続しますと、電食によりシステムの腐食が生じることがありますので避けてください。

④継手の締付けおよび締付けトルクの厳守

バルブに継手類をねじ込む場合、下記適正締付トルクで締付けてください。

配管時の締付トルク

接続ねじ	適正締付トルク N・m
Rc1/8	7~9
Rc1/4	12~14
Rc3/8	22~24
Rc1/2	28~30
Rc3/4	28~30
Rc1	36~38
Rc1 1/4	40~42
Rc1 1/2	48~50
Rc2	48~50

⑤製品に配管する場合

製品に配管を接続する場合は、供給ポートなどを間違えないようにしてください。

⑥ボイラで発生した蒸気は、多量のドレンを含んでいます。ドレントラップを必ず設置してご使用ください。

使用環境

⚠ 警告

- ①腐食性ガス、化学薬品、海水、水蒸気の雰囲気または、付着する場所では使用しないでください。
- ②爆発性雰囲気の場所では使用しないでください。
- ③振動または衝撃の起こる場所では使用しないでください。
- ④周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所では使用しないでください。
- ⑤水滴、油および溶接時のスパッタなどが付着する場所では、適切な防護対策を施してください。

保守点検

⚠ 警告

①製品の取外しについて

蒸気等の高温流体はバルブが高温になります。作業前にバルブ温度が十分下がったことを確認してください。不用意にさわると火傷する可能性があります。

- 1)流体供給源を遮断し、システム内の流体圧力を抜いてください。
- 2)電源を遮断してください。
- 3)製品を取外してください。

②低頻度使用

作動不良防止のため 30 日に 1 回は、バルブの切換作動を行ってください。また、適切な状態でお使いいただくため半年に 1 回程度の定期点検を行ってください。

⚠ 注意

①フィルタ・ストレーナについて

- 1)フィルタまたはストレーナの目詰りにご注意ください。
- 2)フィルタエレメントは、使用后 1 年、またはこの期間内でも圧力降下が 0.1MPa に達したら、交換してください。
- 3)ストレーナは、圧力降下が 0.1MPa に達したら洗浄してください。

②給油

給油してご使用の場合には、給油は必ず続けてください。

③保管

使用后、長期間保管する場合は、錆の発生、ゴム材質等の劣化を防ぐために、水分を十分除去した状態で保管してください。

④エアフィルタのドレン抜きは定期的に行ってください。

使用時のご注意

⚠ 警告

- ①高温流体により、バルブは高温となります。直接触れると火傷する可能性がありますので、ご注意ください。
- ②パイロット形 2 ポートバルブにおいて、弁閉状態時、流体供給源(ポンプ・コンプレッサ等)の起動等により急激に圧力が加わった場合に、瞬時弁が開き流体が漏れる場合がありますので、ご注意ください。
- ③ウォーターハンマにより問題が発生する場合は、ウォーターハンマ緩和装置(アキュムレータ等)を設けてください。



VNDシリーズ 流体制御用電磁弁/製品個別注意事項①

ご使用前に必ずお読みください。

外部パイロットについて

⚠ 注意

パイロットポート 12(P1)、10(P2)の配管について

12(P1)、10(P2)の配管は、型式により下表の様にしてください。

ポート	VND□0□D	VND□02D
12(P1)	外部パイロット	呼吸
10(P2)	呼吸	外部パイロット

バルブ内へのゴミ浸入を防止するために、呼吸ポートにはサイレンサの取付けをおすすめします。

配管について

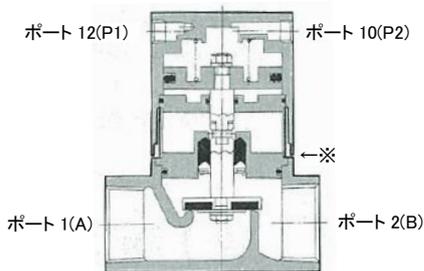
⚠ 注意

使用する継手、チューブなどは耐熱性のものをご使用ください。(くい込み継手、フッ素樹脂チューブ、銅管など)

断熱隙間について

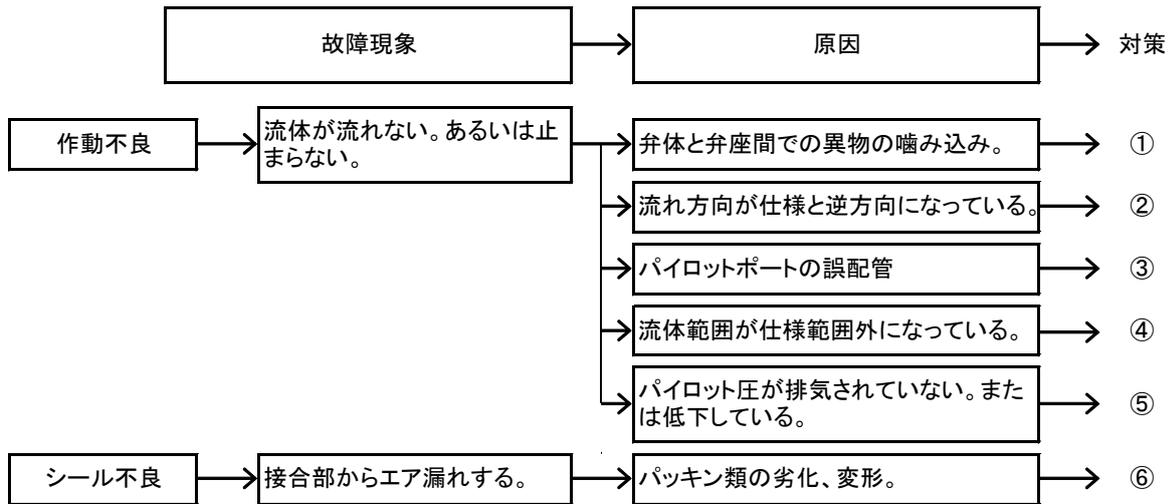
⚠ 注意

ボディとカバーの間には断熱のための隙間(※部約 1mm)が設けてあります。



故障と対処方法

故障の現象に合わせて可能性の高い方からチェックを行い、対策を施してください。



対策

No.	対策内容
①	異物の噛み込みによる場合は、エアブローなどによって管内の異物を除去し、バルブを交換してください。
②	流れ方向を確認して配管してください。
③	正しく配管し直してください。
④	仕様範囲内になるように流体圧力を調整してください。
⑤	パイロットエア操作弁およびパイロットエア圧力を確認してください。
⑥	バルブを交換してください。

⚠ 警告

※バルブの交換は、配管・バルブの湿度が十分下がったこと、またシステム内に圧力が残っていないことを確認してから行ってください。

以上の対策を行ったにもかかわらず改善が認められなかった場合、バルブに何らかの異常が発生している場合があります。そのような場合にはただちにバルブの使用を中止してください。

以下にあげたような事例を行っていた場合、バルブ内部に異常が発生している場合があります。その様な場合はただちにバルブの使用を中止してください。

- ・給油を途中で止めた。または、一時的に給油が途絶えた。
- ・激しい衝撃を与えてしまった。
- ・上記以外で本取扱説明書に書かれている注意事項に該当するような使用を行った場合。

※なお、故障の場合、できるだけそのままの状態バルブをお返しくさるようお願い致します。

改訂履歴

㉔	全面改訂	NP
㉕	誤記修正	OO
㉖	一部修正	RP
㉗	裏表紙を最新フォーマットに変更	WU
㉘	注意事項改訂、裏表紙変更	CV

初版：-

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日、祝日、会社休日を除く】

㉙ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved